

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月1日

事業所名 アンシャンテ2放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	92%	8%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	67%	25%	8%		アクティブスペースの段差解消は行っておりません。現状、車いすや歩行障害に伴い、その段差を登れないや転倒事案が少ない為、引き続き口頭での注意喚起にて対応してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	92%	8%	0%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	92%	8%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%	8%	17%	住吉区の会合等に集まり、外部の意見を聞き入れる機会を作っているが、直接的な第三者評価は行っていない	今年度、実習生等の第三者の方達より評価を頂き、記録に残し、サービス向上・改善につなげると目標を設定しましたが、コロナの影響で実習性等の受け入れが出来なかった為、目標未達成となります
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	83%	17%	0%		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	0%			
20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	92%	8%	0%			
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	0%			
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	67%	25%	8%	適宜、保護者様のご希望をお聞きし、対応する	1名対応中ですが、その他の児童において医療的ケアの要望はない状況となります。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83%	17%	0%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	83%	17%	0%		
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%	0%		すみすみ研修に、常勤が参加しています。適宜、非常勤も交えて参加ができるようにしてまいります。」
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	42%	42%	17%	地域のお祭りへ年に1度参加し、障がいのない児童と関わる機会の確保に努めている。また、公園遊び等で関わることもある	コロナの影響もあり、イベント実施数が減っていることと、今年度は既存のプログラム復活に伴い、そちらに時間を必要とすることで、参加できない状況がありました。来年度は少しずつ段階を経て、交流に努めてまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	75%	25%	0%	月一回のすみすみ(住吉区・住之江区放課後等デイサービス連絡会)への参加を行っている	特定のスタッフのみの参加となっているので、みんなが参加できる仕組みを検討してまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	83%	17%	0%		交流会を実施しているが、ペアレント・トレーニングに該当するかは不明。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	92%	8%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	83%	17%	0%		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%		
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%	0%	年に2度福祉施設への訪問や年に1度の地域のお祭りへの参加を行い、努めている	今年度は、フットサル上でのスポーツイベントを実施しました。少しずつそういった機会を増やし、地域の方にもしてもらええる環境を作ってまいります。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	75%	25%	0%	大阪市で開かれている虐待研修に参加し、法人内での虐待ミーティングを1月に行っている。」また全職員へアンケート形式で現状の意見を聞き入れている	1月から3月が虐待防止委員会及び虐待研修を行う機関となります。職員アンケートの実施とともに、職員全体で話し合える環境を整えてまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	75%	25%	0%	不適切な行為等で周りの児童の危険や不快が伴う場合は、場面転換を行う旨を面談時に説明し、状況に応じて計画書内に記している(状況が悪化する場合は、保護者の指示書や医師の指示書をもらえるようお願いする)	身体拘束が必要な児童に対しては計画書上での保護者確認及び職員への周知を行います。現状、保護者確認を行っている対象児童はいません。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%			
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%			